

円錐角膜の診断・治療のため、当院に通院された患者さんの 診療録情報を用いた医学系研究に対するご協力をお願い

研究責任者	所属	眼科	職名	教授
	氏名	根岸 一乃		
	連絡先電話番号	03-5363-3821		
実務責任者	所属	眼科	職名	教授
	氏名	根岸 一乃		
	連絡先電話番号	03-5363-3821		

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院された患者さんの診療情報を用いた下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

円錐角膜は、眼球の黒目の部分（角膜）が突出してして円錐形になるために近視と乱視が進行して来る病気です。円錐角膜は先天性、進行性の病気ですが、角膜クロスリンクという手術を行うことで、進行を停止させることができます。角膜クロスリンクは特殊な薬剤を 20～30 分間点眼した上で紫外線を照射する方法で、簡単な手術です。この研究では、西暦 2010 年 1 月 1 日より 2013 年 12 月 31 日までの間に、眼科にて円錐角膜の治療のため、角膜クロスリンクを受けた方が対象となります。

2 研究課題名

承認番号 20180187

研究課題名 進行性円錐角膜に対する角膜クロスリンクの長期成績

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部眼科学教室・慶應義塾大学病院眼科

4 本研究の意義、目的、方法

・目的

今回の研究は、円錐角膜に対する角膜クロスリンクの長期的な術後成績を明らかにする

事が目的です。具体的な研究内容は、角膜クロスリンク手術を受けられて 5 年間経過した患者様の術後のデータを集計・解析して移後成績を検討するものです。

・方法

年齢、性別の他に角膜クロスリンク手術後に測定したデータ（自覚的屈折検査、角膜内皮細胞検査、角膜屈折力、前眼部三次元画像解析装置など）を解析します。この研究のために追加して行う検査はありません。また、今後も通常の手術後に行う定期検査や診察以外のために来院していただく必要はありません。

5 協力をお願いする内容

円錐角膜の診療に関する診療記録、診断用画像（角膜内皮細胞検査、角膜形状解析検査など）

6 本研究の実施期間

西暦 2018 年 11 月 5 日～2019 年 3 月 31 日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究では患者さんの個人情報（氏名、患者番号、住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療記録内容や診断用画像は、データを集計する段階で氏名やカルテ番号、生年月日などの個人情報をすべて削除し、どなたのものか一切わからない形で使用します。（「連結不可能匿名化」と言います）

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、診療記録や診断用画像の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

根岸 一乃

160-8582 東京都新宿区信濃町35 慶應義塾大学病院眼科

電話：03-5363-3821

以上